

2024/1～2024/3 にっしん景況レポート

2024/4

Vol.

32



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2024年1～3月の景況の現状と2024年4～6月の見通しを調査する景況動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2024年1～3月の実績(3月については予想)
2024年4～6月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の359社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2024年1～3月
前期 = 2023年10～12月
前年同期 = 2023年1～3月
来期 = 2024年4～6月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	152	49	22	17	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	152	24	24	17	40	24	23
業種合計	359	90	57	40	73	52	47



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

● 今期の景況

今期(2024年1月～3月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲10.3となり、前期(2023年10月～12月)に比べ5.2ポイント低下した。売上額判断D.I.は▲6.7となり、前期と比べて21.6ポイント低下した。収益判断D.I.は▲8.9となり、前期と比べて12.0ポイント低下した。

● 来期の見通し

来期(2024年4月～6月)の予想業況判断D.I.は▲6.7となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	4	71	172	91	21	359
回答割合	1.1%	19.8%	47.9%	25.3%	5.8%	100%

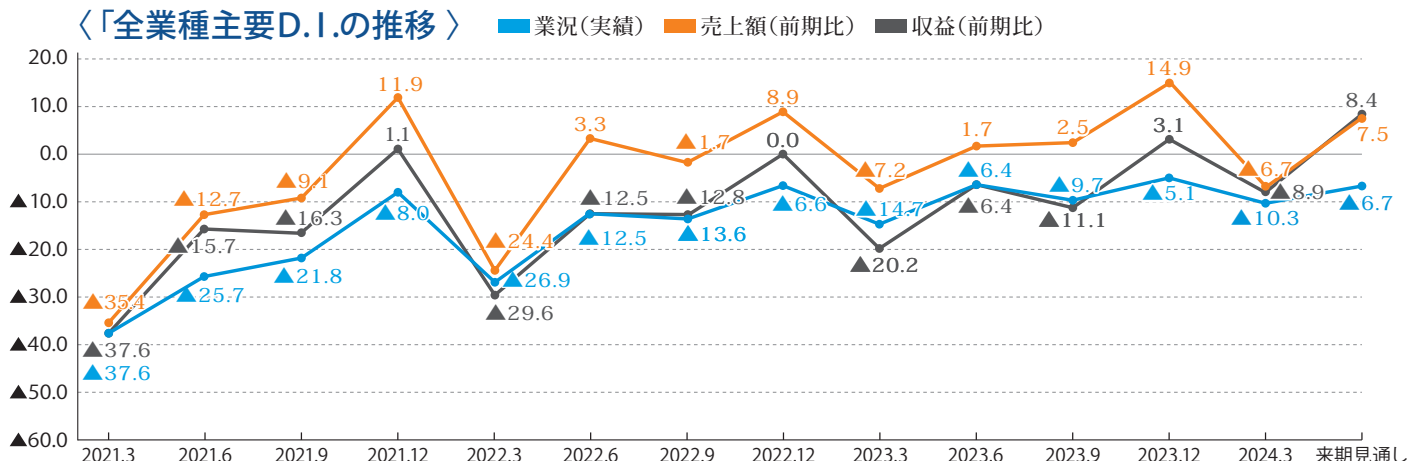
〈2024年1～3月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲ 10.5	▲ 14.3	▲ 13.6	▲ 29.4	▲ 8.0	26.3	▲ 20.0
三木地区	▲ 27.3	▲ 52.9	▲ 36.4	▲ 33.3	12.5	▲ 22.2	25.0
神戸地区	▲ 3.9	▲ 25.0	12.5	▲ 11.8	▲ 5.0	▲ 4.2	8.7
全地区	▲ 10.3	▲ 24.4	▲ 7.0	▲ 22.5	▲ 4.1	3.8	▲ 2.1

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 5.1	▲ 10.3	▲ 6.7	販売価格(前期比)	23.7	22.3	21.7
売上額(前期比)	14.9	▲ 6.7	7.5	仕入価格(前期比)	48.0	42.5	43.3
売上額(前年同期比)	3.4	▲ 0.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 11.3	▲ 9.5	▲ 4.2
収益(前期比)	3.1	▲ 8.9	8.4	人手不足(過剰-不足)	▲ 40.4	▲ 5.4	▲ 35.1
収益(前年同期比)	▲ 5.1	▲ 2.5	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲24.2となり、前期実績と比して14.2ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲12.2、収益判断D.I.は▲12.2となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は20.2ポイント、収益判断D.I.は12.2ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲11.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲21.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲5.6となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は7.8、予想収益判断D.I.は1.1となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 10.2	▲ 24.4	▲ 5.6	販売価格(前期比)	20.5	23.3	20.0
売上額(前期比)	8.0	▲ 12.2	7.8	仕入価格(前期比)	40.9	43.3	37.8
売上額(前年同期比)	▲ 12.5	▲ 11.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 8.0	▲ 12.2	▲ 6.7
収益(前期比)	0.0	▲ 12.2	1.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 33.0	▲ 27.8	▲ 30.0
収益(前年同期比)	▲ 18.2	▲ 21.1	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲7.0となり、前期実績と比して変わらなかった。

売上額判断D.I.は▲7.0、収益判断D.I.は▲12.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は21.3ポイント、収益判断D.I.は17.7ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は1.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲7.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲15.8と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は5.3、予想収益判断D.I.は12.3となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 7.0	▲ 7.0	▲ 15.8	販売価格(前期比)	44.6	35.1	26.3
売上額(前期比)	14.3	▲ 7.0	5.3	仕入価格(前期比)	53.6	47.4	49.1
売上額(前年同期比)	10.5	1.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 16.1	0.0	▲ 1.8
収益(前期比)	5.4	▲ 12.3	12.3	人手不足(過剰-不足)	▲ 28.1	▲ 21.1	▲ 22.8
収益(前年同期比)	0.0	▲ 7.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲22.5となり、前期実績と比して15.0ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲20.0、収益判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は50.0ポイント、収益判断D.I.は27.5ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲2.5、収益判断D.I.の前年同期比は5.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は減少し、収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲7.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は7.5、予想収益判断D.I.は17.5となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 7.5	▲ 22.5	▲ 7.5	販売価格(前期比)	40.0	35.0	27.5
売上額(前期比)	30.0	▲ 20.0	7.5	仕入価格(前期比)	60.0	45.0	57.5
売上額(前年同期比)	15.0	▲ 2.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲17.5	▲25.0	▲20.0
収益(前期比)	10.0	▲ 17.5	17.5	人手不足(過剰-不足)	▲32.5	▲37.5	▲32.5
収益(前年同期比)	▲ 7.5	5.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲4.1となり、前期実績と比して12.6ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲12.3、収益判断D.I.は▲13.7となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は24.8ポイント、収益判断D.I.は10.9ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は8.2、収益判断D.I.の前年同期比は11.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲5.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は16.4、予想収益判断D.I.は13.7となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 16.7	▲ 4.1	▲ 5.5	販売価格(前期比)	12.5	15.1	20.5
売上額(前期比)	12.5	▲ 12.3	16.4	仕入価格(前期比)	47.2	42.5	39.7
売上額(前年同期比)	4.2	8.2	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 19.4	▲ 16.4	▲ 9.6
収益(前期比)	▲ 2.8	▲ 13.7	13.7	人手不足(過剰-不足)	▲ 51.4	▲ 43.8	▲ 41.1
収益(前年同期比)	▲ 2.8	11.0	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は3.8となり、前期実績と比して5.8ポイント低下した。

売上額判断D.I.が3.8、収益判断D.I.が▲9.6となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は13.5ポイント、収益判断D.I.は11.5ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は7.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲1.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多かった。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲11.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲3.8、予想収益判断D.I.は▲1.9となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈 建設業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	9.6	3.8	▲ 11.5	販売価格(前期比)	17.3	9.6	19.2
売上額(前期比)	17.3	3.8	▲ 3.8	仕入価格(前期比)	55.8	42.3	53.8
売上額(前年同期比)	0.0	7.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 11.5	▲ 9.6	5.8
収益(前期比)	1.9	▲ 9.6	▲ 1.9	人手不足(過剰-不足)	▲ 61.5	▲ 61.5	▲ 57.7
収益(前年同期比)	▲ 7.7	▲ 1.9	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲2.1となり、前期実績と比して12.7ポイント低下した。

売上額判断D.I.は12.8、収益判断D.I.は17.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は4.2ポイント低下、収益判断D.I.は6.4ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲4.3、収益判断D.I.の前年同期比は10.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は減少し、収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

○ 来期の見通し

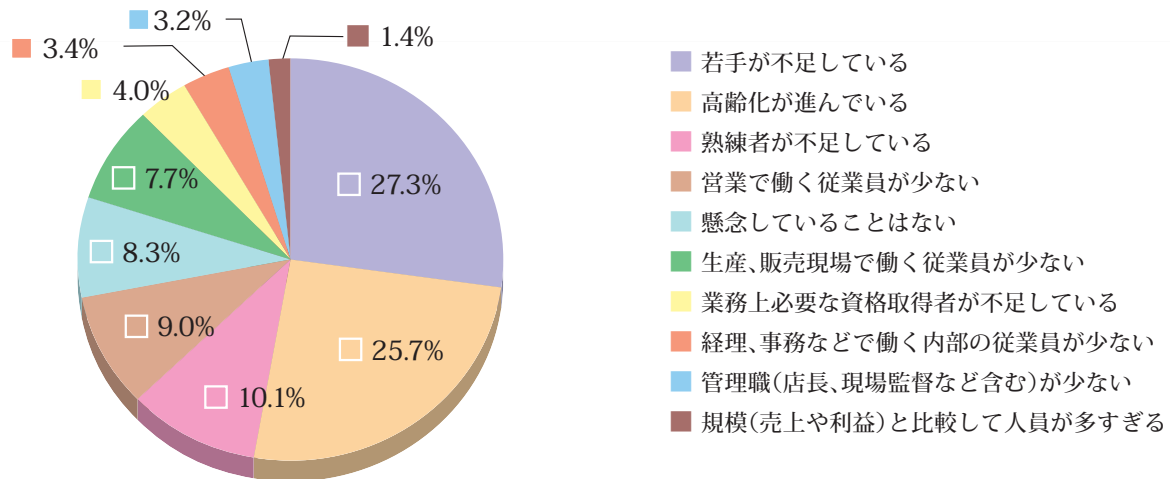
来期の予想業況判断D.I.は6.4となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は8.5、予想収益判断D.I.は12.8となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈 不動産業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	▲ 2.1	6.4	販売価格(前期比)	14.9	19.1	19.1
売上額(前期比)	17.0	12.8	8.5	仕入価格(前期比)	37.0	32.6	28.3
売上額(前年同期比)	17.0	▲ 4.3	—	資金繰り(楽-苦)	6.4	8.5	8.5
収益(前期比)	10.6	17.0	12.8	人手不足(過剰-不足)	▲ 36.2	▲ 23.4	▲ 27.7
収益(前年同期比)	14.9	10.6	—				

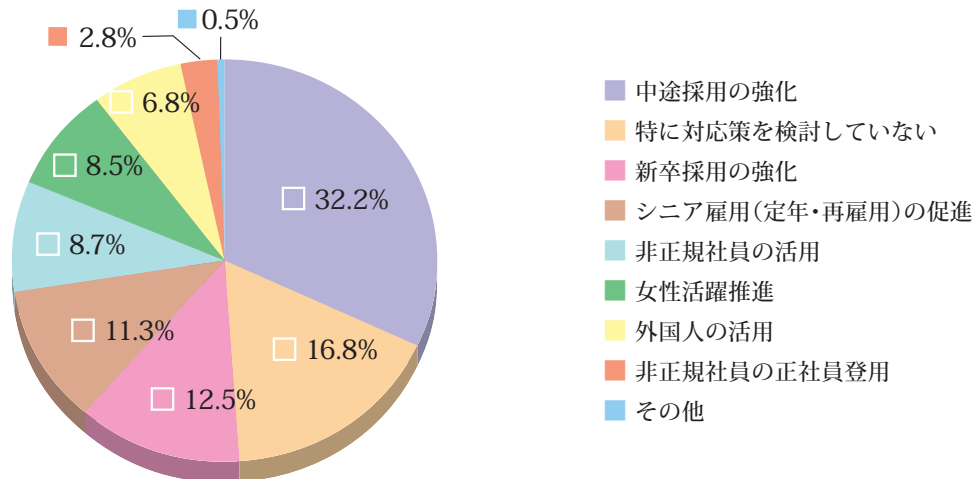
特別調査：「中小企業における人材戦略について」

◎ ～現在の人材の状況について懸念していることはありますか～



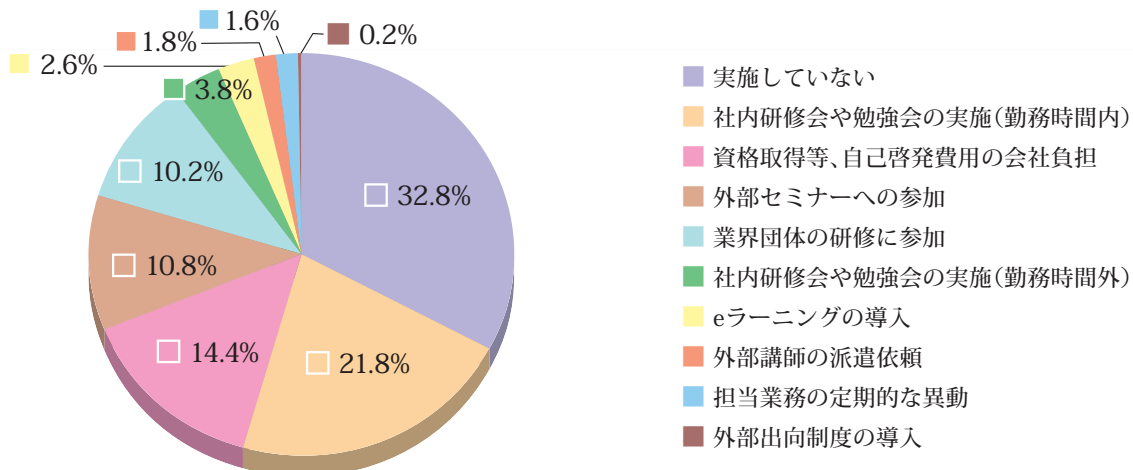
現在の人材の状況については、「若手が不足している(27.3%)」の回答数が最も多く、次いで「高齢化が進んでいる(25.7%)」となった。

◎ ～今後の人材に対する対応策について、どのような対応策を考えていますか～



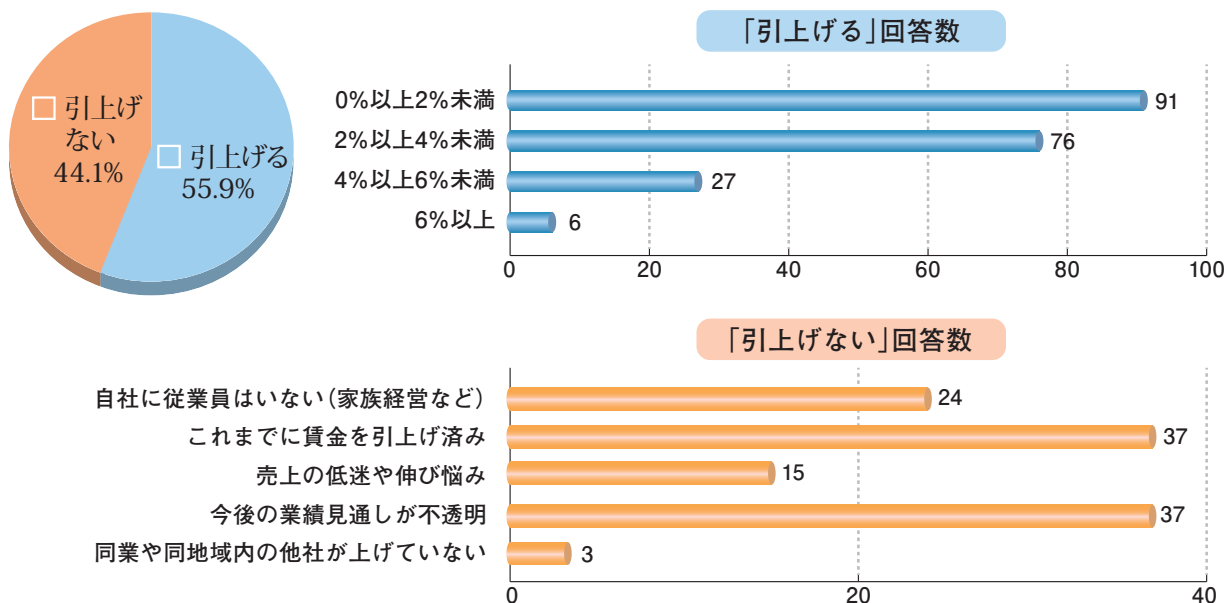
今後の人材に対する対応策については、「中途採用の強化(32.2%)」の回答数が最も多く、次いで「特に対応策を検討していない(16.8%)」「新卒採用の強化(12.5%)」となった。

◎ ～人材育成において、職場内での実地の訓練(OJT)以外の取組みを実施していますか～



職場内での実地の訓練(OJT)以外の取組みについては、「実施していない(32.8%)」の回答数が最も多く、次いで「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)(21.8%)」、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担(14.4%)」となった。

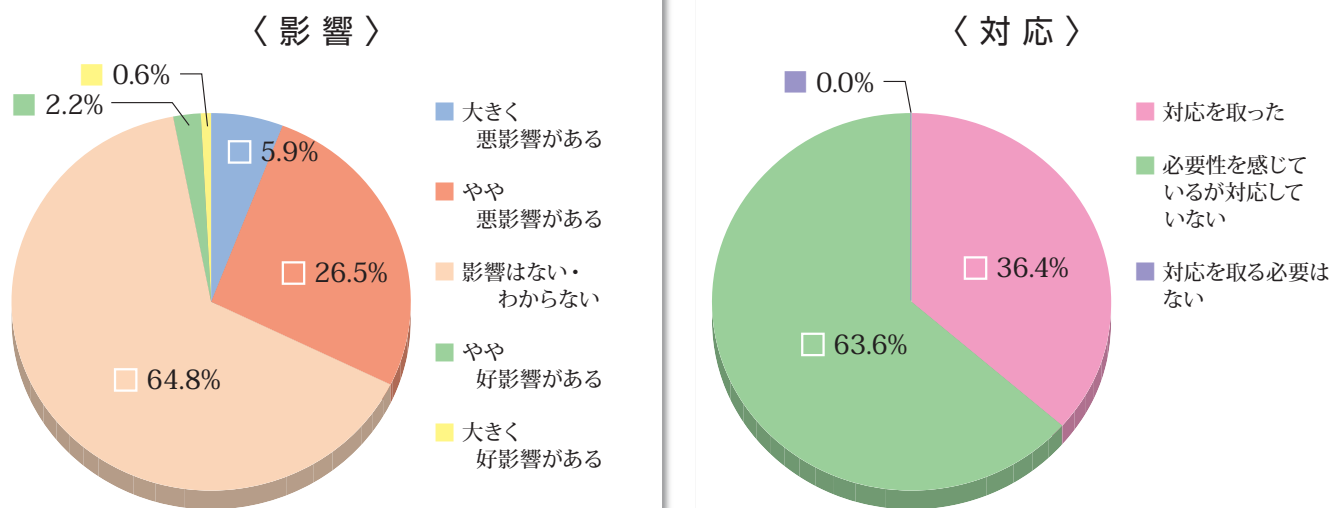
◎ ～人材定着などに向けて、2024年度に賃金の引上げを実施（実施予定を含む）しますか～



2024年度の賃金の引上げについては、「引上げる(55.9%)」と回答した先が過半数を超えており、賃金引上げ率は「0%以上2%未満(91先)」、次いで「2%以上4%未満(76先)」、「4%以上6%未満(27先)」、「6%以上(6先)」の順となった。

また、賃金を引き上げないとした先の理由については、「これまでに賃金を引上げ済み」および「今後の業績見通しが不透明」が37先と最も多く、次いで「自社に従業員はいない(家族経営など)(24先)」となった。

◎ ～2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制（2024年問題）が始まりますが、これに伴い業務への影響が出ると見込まれますか～



2024年問題の影響については、「影響はない・わからない(64.8%)」が最も多く、次いで「やや悪影響がある(26.5%)」、「大きく悪影響がある(5.9%)」、「やや好影響がある(2.2%)」、「大きな好影響がある(0.6%)」の順となった。

また、2024年問題への対応については、「必要性を感じているが対応していない(63.6%)」、「対応を取った(36.4%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「オンライン創業相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和6年5月20日(月) 13:00~16:30
②令和6年6月17日(月) 13:00~16:30
- 開催方法：オンライン(Zoom)
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和6年5月9日(木) 13:00~17:15 日新信用金庫 魚崎支店
②令和6年6月13日(木) 14:00~17:00 日新信用金庫 本荘支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3社(ご相談時間1組75分)




このたびは、第32回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びInstagramの公式アカウントを発信しております。当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等が発信しますので、下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。